

地域医療について

佐藤 龍彦



〔質問〕昨年12月の仙南医療圏地域医療推進協議会で示された、みやぎ県南中核病院の救急医療に要する経費について、本市が負担金を「予算措置できな」とした理由を伺う。

〔答弁〕〔市長〕令和7年12月22日に第2回仙南医療圏地域医療推進協議会が開催され、みやぎ県南中核病院の救急医療に要する経費負担について、同病院を運営するみやぎ県南中核病院企業団を構成する大河原町、柴田町、村田町、角田市と、それ以外の市町の負担割合などに関して、事前の打ち合

病院の救急医療に要する経費負担を、来年度以降求められた場合の対応について伺う。

〔答弁〕〔市長〕仙南医療圏の救急医療については、本市も公立刈田総合病院において応分の負担をしている状況であり、今後仙南医療圏地域医療推進協議会より、負担額を示されたとしても、本市としては負担する考えはない。

〔質問〕本市は今後、地域医療を守っていくために、みやぎ県南中核病院とどのように連携していく考えなのか伺う。

〔答弁〕〔市長〕今後も連携プランに基づき、公立刈田総合病院の責任を果たし、仙南医療圏における連携を推進し、持続可能な医療提供体制の構築に努めていきたい。

〔その他の質問〕
◎本市の空き家対策について

中山間地域における里山・農地管理とクマ対策について

佐久間 儀郎



〔質問〕クマ出没等の要因をどのように分析しているのか伺う。

クマ被害の予防的な側面を有しているのか伺う。

〔答弁〕〔市民経済部長〕

〔答弁〕〔市民経済部長〕人の生活圏で効率よく食物を確保できることを学習した個体は、執着して出没を繰り返す。また住宅・農地に接する山林や管理不足の耕作放棄地などは、移動ルートや隠れる場所になることから、これらがクマ出没の要因であると認識している。

これまで農作物被害防止対策ということで、有害鳥獣全般にわたりますさまざまな支援策が示されていたが、人的被害防止も含めた農水の分野においても、新たな中山間地域の事業も、新たなメニューが示されているので、今後、政府により示されていくと認識している。

〔質問〕農政、鳥獣害対策、防災等の関係部署が連携して、両制度を活用した中山間地域の環境管理をどのように進めていくかを伺う。

〔答弁〕〔市長〕多くの地域で過疎化・高齢化が

問題となっており、地域の住民の力だけでは十分な対策を行うことが難しい場合も多いのが現状であり、自治体には地域に寄り添って必要な対策を検討し、できるだけ地域の主体的な取り組みを促していくことが求められている。本市は地域計画の見直しにあたり、各地域での話し合いの場を設けていることから、多面的機能支払交付金、中山間地域等直接支払制度の周知や、鳥獣対策に関する新たな情報提供も行なっていくたい。なお環境管理を進めるためには、個人や地域での取り組みのほか、国や県から発出される情報を注視し、対策を講じていきたい。

〔その他の質問〕
◎空き家対策の推進について